データの種類と型 p.38



データ	型(データの種類)
オブジェクト	クラス
例: new Jframe()	Jframe
値	基本型
例: 3.14	double

基本型 整数

基本型(ビット数)内容 リテラルの例

- byte (8) 8ビット整数
- short (16) 短長整数
- int (32) 整数 3,-10
- long (64) 倍長整数 100L, -51



リテラル: ソースプログラム中の定数

基本型 実数

基本型(ビット数)内容 リテラルの例

- float (32) 単精度実数 3.14F, -5.0e+10f
- double (64) 倍精度実数 3.14, 3.0e+12

3.0e+12の意味: 3.0×10¹²

実数はコンピュータ内部では浮動小数点(floating point)で表現されているので、 浮動小数点数(floating point number)とも呼ばれる

基本型 論理值、文字

基本型(ビット数)内容 リテラルの例

- boolean (8) 論理值 true, false
- char (16) 文字 'a' 'b' '理'

文字列は基本型ではない!
Stringクラスのインスタンス
文字列 "abc", "0", ""
空の文字列

包囲クラス (wrapper class)

基本型 対応する包囲クラス

- byte
- short
- int
- long
- float
- double
- boolean
- char

Byte

Short

Integer

Long

Float

Double

Boolean

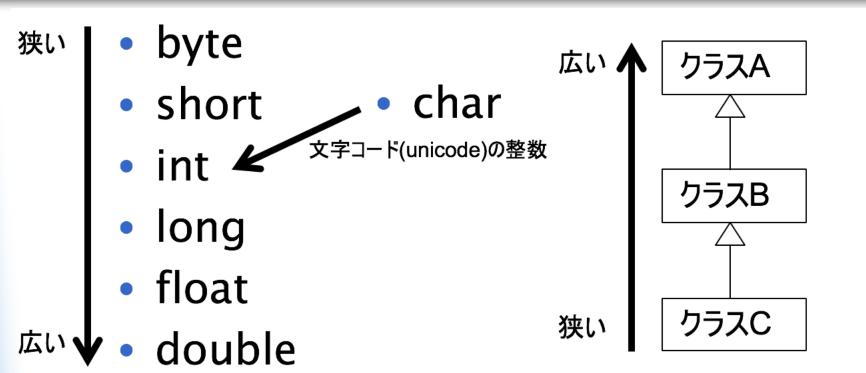
Character

包囲クラスのインスタンスはその 内部に対応する基本型の値 を保持する

包囲クラスと基本型の自動変換

- ボクシング(boxing)
 - ◆ 基本型 → 包囲クラス
 - Integer i1 = 100; // new Integer(100)と同等
- アンボクシング(unboxing)
 - ◆ 包囲クラス → 基本型
 - int k1 = i1; // i1.intValue() と同等

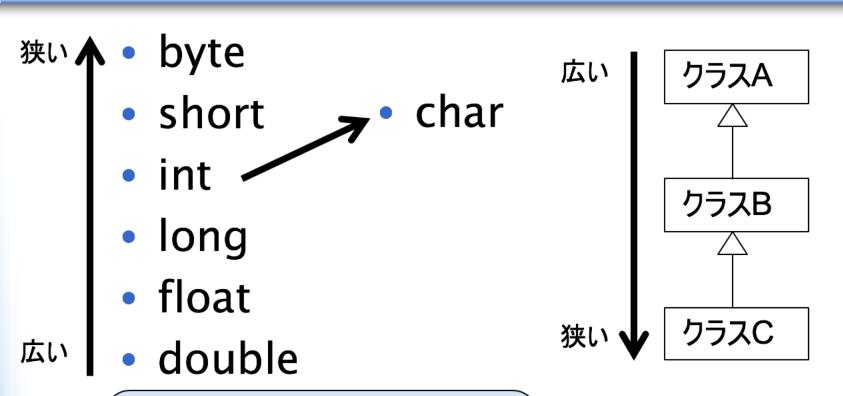
広め変換(型指定不要)



広め変換の例:

long x = 100; float f1 = 1.0f + x; double型とint型の比較でも int型がdouble型に広め変換され 比較が行われる

狭め変換(キャスト必要)



キャストの例: double d1 = 3.14; int i1 = (int) d1;